

令和6年7月19日

前林地域会議  
会長 石川 雅俊 様

豊田市長 太田 稔彦

## 検討結果報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問し、答申を受けたことについて、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 報告事項 令和5年12月15日に前林地域会議から受けた『(仮称)ミライ構想』のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造に関する答申についての検討結果は別紙のとおり
- 2 主管課名 企画政策部 企画課、都市計画課

## 前林地域会議からの答申に対する検討結果

1	答申内容	<p>(1) 全体共通の意見</p> <p>①表現・言い回し等に関すること</p> <p>「つながり」や「愛着」「子ども」など、これからより大切にしてい くべきテーマがちりばめれているが、「カタカナ言葉」や「言い回 し」に馴染みがないものも多く、市民に理解され難い。こうした計 画こそ「市民目線」が大切であり、わかりやすく、親しみやすい (理解しやすい) 表現にする必要がある。</p>
	市の考え	<p>ご意見のとおり、表現については、市民の皆様が理解しやすい説明 や表現を工夫していきます。</p> <p>計画自体についても、市民の皆様にとって分かりやすい計画とする とともに、手に取りやすい図書となるよう工夫していくほか、動画 など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様 と共有していく考えです</p>
2	答申内容	<p>(1) 全体共通の意見</p> <p>②過去の総合計画の成果と9次総合計画のミライ構想へのつながり 特に8次総合計画における成果や残された課題の分析、新たな課題 (コロナ禍を経て見えた課題など) への考え方などが示されないま ま、9次総合計画の方向性を示された印象を受ける。過去の総合計 画の分析結果や新たに見えた課題等を整理し、「9次総合計画のミラ イ構想」へのつながりを明確にする必要がある。</p>
	市の考え	<p>ますます変化が激しく、予測困難な社会が訪れる中で対応すべき課 題等については、豊田市の特性や強み、豊田市を取り巻く環境変化 として「計画の背景」等において記載を工夫していきます。</p> <p>第8次豊田市総合計画における成果等については、事業の進捗管理 を行う中で、事業の年次計画と実績の差から進捗状況を把握し、適 宜、見直しを行うローリングシステムにより管理し評価を行って います。なお、結果については市ホームページで公表しています。</p> <p>また、第9次豊田市総合計画では、これまでの計画が取組の固定化 につながりやすいという反省を踏まえ、社会環境の変化に対応し て、注力が必要な取組を柔軟に展開することを重視しており、常に 取組を見直していく計画としていく考えです。</p>

3	<p><b>答申内容</b></p> <p>(1) 全体共通の意見  ③具体性について  「ないものを補う」「多様な主体」「足し算とかけ算」など、資料を読むだけでは具体的にイメージすることが難しい内容が多く見受けられる。要所に具体的な例示を示すべきである（現時点で考えているもので構わないので）。解説がなければわからない資料では、広く市民に理解してもらおう・意識（イメージ）してもらおうことは難しい。</p>
	<p><b>市の考え</b></p> <p>例示を含め表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。なお、計画自体についても、市民の皆様にとって分かりやすい計画とするとともに、手に取りやすい図書となるよう工夫していくほか、動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。</p>
4	<p><b>答申内容</b></p> <p>(2) めざす姿について  ①良いと感じた点  豊田市は広域であるため、一律的な考え方や方向性を押し付けることはできない。そういった中で、「多様な地域の資源」「愛着」「つながり」といった視点を持つことは大切である。</p>
	<p><b>市の考え</b></p> <p>ご意見のとおり、本市は多様な地域や歴史文化、芸術、自然等の資源を有しており、様々な「つながり」を通じて多様な価値をつくりだし、市民一人ひとりが愛着や誇りをもって、これらの魅力を次代を担うこどもたちにつないでいくことが大切であると考えています。</p>
5	<p><b>答申内容</b></p> <p>(2) めざす姿について  ①良いと感じた点  「継承」と「深化」にあるように、次代につなげていく視点と変化を恐れず新しいことに挑戦していくという両方の視点がこれからの時代はより重要である。</p>
	<p><b>市の考え</b></p> <p>ご意見のとおり、「チェンジ（変化）」と「チャレンジ（挑戦）」によってしなやかに変化しつづける持続的なまちをめざすとともに、市民一人ひとりが愛着や誇りをもって、これらの魅力を次代を担うこどもたちにつないでいくことが大切であると考えています。</p>

6	答申内容	<p>(2) めざす姿について</p> <p>②より良くするため（なると思われる）には「能動的」「主体的」「積極的」「前向き」はどれも違いがよくわからないので、シンプルに「みんな前向きに頑張っていこう」ぐらいのわかりやすい表現でよいと思う。</p>
	市の考え	<p>表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。第9次豊田市総合計画は、分かりやすく親しみやすいものとなるよう図書以外にも動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。</p>
7	答申内容	<p>(2) めざす姿について</p> <p>③その他</p> <p>「人と地域と自然のつながり」における自然とのつながりとは具体的にどういったものかイメージができない。</p>
	市の考え	<p>「人と地域、自然」とのつながりとは、都市と山村が共生する本市ならではの豊かな自然に触れることなどを考えています。そのほか様々な「つながり合い」を通じてお互いを生かし合う中で、多様な価値や可能性をつくり出し、暮らしを楽しむことができるまちを目指すことが重要であると考えています。表現については、ご意見を参考にさせていただきながら、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。</p>
8	答申内容	<p>(2) めざす姿について</p> <p>③その他</p> <p>あらゆる主体が積極的に、能動的にとあるが、今の豊田市は皆積極性がないということか。それが豊田市の課題であるのか。目指す姿ということとは、豊田市「チェンジ」や「チャレンジ」が今はあまりできていないまちという評価をしているということか。課題が見えない。</p>
	市の考え	<p>ますます変化のスピードが速く、前提が変わっていく社会が到来する中、時代に即して、新たな課題に柔軟に対応することが必要と考えています。</p> <p>このため、誰もが前向きに挑戦する取組を後押しできる環境づくりや社会の変化に合わせた柔軟性を備えることが一層重要であると考えています。</p>

9	答申内容	(2) めざす姿について ③その他 「チェンジ(変化)」「チャレンジ(挑戦)」と補足のよう書くのであれば、変化と挑戦で十分通じるのでは。
	市の考え	ご意見を参考にさせていただきながら、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。
10	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ①良いと感じた点 目まぐるしく環境が変わっていく時代なので、3つの「変える」を常に意識させるような視点をもつことはよいと思う。
	市の考え	ご意見のとおり、変化の激しい予測困難な時代において、持続可能なまちを実現するために、3つの「変える」によってあらゆる立場の人が主体性をもち、ともにまちづくりを進めていくことが重要だと考えており、こうした考えを基に具体的な取組を検討していきます。
11	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ①良いと感じた点 少子高齢化や市の財源など、様々な要因によりどんどん新しいものを作りあげる(特にハード面)ということは難しいと思います。そういった中で「あるものを生かす」という視点は非常に重要です。
	市の考え	ご意見のとおり、人口減少社会を前提とした発想や手法、仕組みが必要となる中で、「『ないものを補う』から『あるものを生かす』発想へ」等を市民の皆様と共有しながら取り組むことが必要と考えています。
12	答申内容	(3) まちづくりの基本的な考え方について ②より良くするため(なると思われる)には 行政リードから多様な主体とあるが、行政がリードする部分やフォローする部分は残っていくはず(残すべきところもある)であるため、表現をもう少し柔らかくしたほうがよい(全体的に行政はもう何もやらないという印象を受ける)。

	<p><b>市の考え</b></p>	<p>御指摘の点については、「(仮称)ミライ構想」において、「行政が担うべきことはしっかりと役割を果たしつつ、市民や民間事業者などの多様な主体が主役となってまちづくりに参画し、楽しみながら活躍できる環境づくりを行い、「共働によるまちづくり」を更に進めることを意識します」と掲げていく考えです。</p> <p>なお、行政として、つなぐ役割や場の提供を促進することなど、様々な役割や関わり方があることは変わらないと考えており、特に、様々な主体（市民・団体・事業者の方など）が様々な方のニーズを受け止めておられると認識しており、そうした皆様との共働など、行政の果たすべき役割について引き続き取り組んでいきます。</p>
<p><b>13</b></p>	<p><b>答申内容</b></p>	<p>(3) まちづくりの基本的な考え方について ②より良くするため（なると思われる）には 「変える」という視点は必要だが、前提認識を変えることと多様な価値観を認め合うことは相反するようにも感じる。お互いの思い込みや前提認識と思える部分を理解し合うことにより、理解が深まるのではないかと。言葉遊びのようになるので、もう少し単純に「様々な価値観を許容する」ぐらいの表現でよいのではないかと。</p>
	<p><b>市の考え</b></p>	<p>変化の激しい予測困難な時代において、持続可能なまちを実現するために必要な視点として、「変化」をあげています。</p> <p>そうした視点に基づき、見方を「変える」ことによって多様な価値観を認識し、認め合うことへつながると考えています。</p> <p>なお、表現については、ご意見を参考にさせていただきながら、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。</p>
	<p><b>答申内容</b></p>	<p>(3) まちづくりの基本的な考え方について ③その他 チェンジやチャレンジ、変化が重要と言いながら「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」は8次総合計画と同じでよいのか。新しい視点は生まれなかったのか。</p>
<p><b>14</b></p>	<p><b>市の考え</b></p>	<p>将来像「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」については、時代が変わっても大切にしたい姿として継承することを考えています。</p> <p>特に、人口減少社会の到来に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、様々なつながりが改めて重要であることを再認識するとともに、変化の激しい予測困難な社会の中においても大切すべきものと捉えており、継承することを考えています。</p>

15	答申内容	<p>(3) まちづくりの基本的な考え方について</p> <p>③その他</p> <p>めざす姿から発想の転換でまちづくりの基本的な考え方に進んでいるが、つながりがよくわからない。</p>
	市の考え	<p>ご意見を参考にさせていただきながら、「(仮称) ミライ構想」をまとめていく中で、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。</p>
16	答申内容	<p>(3) まちづくりの基本的な考え方について</p> <p>③その他</p> <p>行政リードから多様な主体が楽しむまちづくりというのは、地域が自分たちで考えてやってくださいよ(市は知りませんよ)という理解でよいのか、地域に財源や権限を与えるので支所を中心としながら各地区でもっと頑張ってくださいという意味なのか。行政が手を引く感じの印象が強い。地域はすでに疲弊している。これ以上地域主体と言わないでほしい。</p>
	市の考え	<p>御指摘の点については、「(仮称) ミライ構想」において、「行政が担うべきことはしっかりと役割を果たしつつ、市民や民間事業者などの多様な主体が主役となってまちづくりに参画し、楽しみながら活躍できる環境づくりを行い、「共働によるまちづくり」を更に進めることを意識します」と掲げていく考えです。</p> <p>なお、行政として、つなぐ役割や場の提供を促進することなど、様々な役割や関わり方があることは変わらないと考えており、特に、様々な主体(市民・団体・事業者の方など)が様々な方のニーズを受け止めておられると認識しており、そうした皆様との共働など、行政の果たすべき役割について引き続き取り組んでいきます。</p>
17	答申内容	<p>(3) まちづくりの基本的な考え方について</p> <p>③その他</p> <p>まちづくりの基本的な考え方であるため、市民がもっと具体的にイメージしやすい表現にしないと同じ方向を向いて進むことができない。それぞれの説明に「つまりこういうこと」を示すべき。</p>

	市の考え	ご意見のとおり、表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。第9次豊田市総合計画は、分かりやすく親しみやすいものとなるよう図書以外にも動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。
18	答申内容	(4) 都市構造について ①良いと感じた点 豊田市は市域が広いとため、鉄道等の交通機関や幹線道路を軸としながら市全体をつなげていくという考え方はよいと思う。
	市の考え	ご意見の「鉄道や道路を軸とした地域間のつながり」は、今後のまちづくりを考える上で非常に重要な視点であると考えています。将来都市構造では、拠点同士が緊密につながり合い、都市部・山村部それぞれの地域の価値を高め合う拠点連携型の都市を目指していくことを示していきます。
19	答申内容	(4) 都市構造について ②その他 ・前林も含め南部は人口も多く、力のある地域であると思う。しかし、核となるのは若林駅や土橋駅であり、前林を含め主要な駅がない地域に対してはどういうビジョンを持っているのだろうか。市全体を示した計画であるためこうした表現になることはやむを得ないかもしれないが、そこに住んでいる住人にとっては、「私たちは見捨てられた地域か」という印象を与えるため、せめて補足の説明が必要ではないか。 ・南部（特に前林）においては、生活拠点を二の次に物流企業や倉庫が乱立している状態である。えきちか居住エリアを考えるのは必要かもしれないが、都市構造にも名前が出ない「置き去りにされた地域」をどう立て直していくかの視点も必要ではないか。 ・今後の展開で示されるのかもしれないが、「現在の各エリアの状況（地区単位が難しければ、せめて『北部』や『南部』など）や課題」「具体的にイメージしている拠点」「どの拠点がどのエリアをカバーするイメージなのか」「潜在的な拠点・今後拠点となり得る場所」などの表現もある程度具体的に示しておく必要があるのではないか。 ・産業について、「インターチェンジ周辺等、利便性が高い地域への産業の集積」とあるが、まだ地域に工場や倉庫を押し付けるのか。生活機能の集積ともあるが、少子高齢化がますます加速する時代に

	<p>において、「生活基盤を整える」という点を今からもっと重視していくことが必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動について、交通ネットワーク強化とあるが、生活に必要な施設が少ない前林においては交通ネットワークの強化も急務である。言葉はきれいだが、具体的にどういったことイメージしているかある程度セットで示さないと様々な地域で憶測や妄想だけが膨らんでいってしまうのではないか。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">市の考え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前林地区は、刈谷スマートインターの開業や名古屋岡崎線の4車線化、また今後も豊田刈谷線の整備が計画されており、道路ネットワークが充実したポテンシャルの高い地域であると捉えています。ご意見のとおり、将来都市構造では市全体を示す計画であるため、個々の地域について記載することは難しいですが、基本的な考え方やゾーンの方針の中で、土地利用に関する方向性を示します。拠点やエリアに関する取組やイメージについては、個別の計画等の中で検討していきます。</li> <li>・産業に関して、本市の都市活力を維持・増進していくためには、充実した都市基盤を最大限に活用した更なる産業の集積・強化を図っていく必要があると考えています。生活基盤についても、これまで培ってきた都市基盤を柔軟に活用し、将来を見据えた暮らしの質の維持・向上に資する土地利用について検討していきます。</li> <li>・交通について、地域内の移動は「生活交通」として、それぞれの地域の特性に応じた持続可能な移動サービスの実現を目指していきます。生活交通は、地域の実態に合わせて「自助・共助・公助」による様々な手段を組み合わせることで、多様なニーズに対応した移動の確保を図っていきます。</li> </ul>